

宮内新横浜線（新吉田高田地区）街路整備工事（その6） 工事説明会 開催概要

1 開催状況

日 時	会 場	出席者数
平成27年10月14日(水) 午後6時30分～8時30分	高田地域ケアプラザ (港北区高田西2丁目)	68名

2 主催者

横浜市道路局建設課
横浜市港北土木事務所
馬淵建設株式会社

3 説明会での主な質問・意見等

<工事について>

- 地盤改良工事において、地盤沈下などの影響が周辺にどのくらいの範囲で生じるのか。また、影響が出た場合はどうするのか。
- 家屋の事前調査は各自で実施するのか、行政でやってくれるのか。
- 家屋調査範囲から外れた場合は地盤的に安心ということなのか。
- 今後、長きにわたり工事の振動などがあると思うがどう考えているのか。
- 工事内容が変わり、施工業者が変わる度に説明会を開催するのか。
- 工事の仮囲いは車と歩行者の視界に配慮して設置して欲しい。

<設計・計画について>

- 副道に接している土地を所有しているが、将来の敷地との高低差はどうなるのか。
- 新しい橋ができれば高田橋を経由する場合と比べてどのくらい時間短縮できるのか。
- 高齢者が多く足の悪い人もいるので橋へのアプローチは考慮して欲しい。
- 堤防道路が通学路になっている。児童はトンネルを通ることになる。トンネル内の安全対策はどう考えているのか。
- 大雨が降って川が溢水したときはどのように避難することになるのか。
- 前回の説明会で、高田側の堤防と副道の接続はバリアフリー対応と聞いている。
- 4車線+両側歩道の形態は起点から終点まで連続するのか。

<スケジュール等について>

- 今回の工事はH28.12に終わるとのことだが、実際の開通はどうなるのか。
- 現在の用地取得の進捗状況は道路完成に影響はないのか。

説明会での意見・質問等を抽出し、わかりやすい表現でまとめました。